LUCKY

2018.2

第48期　報告書

平成29年3月1日から平成30年2月28日

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

株主の皆様へ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長　桐生（きりゅう）　宇優（ひろまさ）

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は創業以来、一貫して地域のお客様に愛されるお店づくりをめざし、皆様の食卓をよりおいしく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。これはひとえにお客様をはじめとして、株主の皆様、お取引先様の暖かいご支援があったからに他なりません。改めて深く感謝申し上げます。

第48期（平成29年３月1日～平成30年４月27日）におきましては、わが国経済の回復局面は「いざなぎ景気」を超えて戦後２番目の長さとなっており、デフレ脱却には力強さを欠くものの、低金利による経済政策の継続により景気は回復傾向が維持されました。しかし、企業業績の好調に伴う賃金上昇に加えて「働き方改革」推進への対応のために、業務効率化、生産性向上、能力向上策は喫緊の課題となっております。

小売業を取り巻く環境については、明暗が分かれた状態が続いております。スーパーマーケットは２年連続で、コンビニエンスストアは３年振りに既存店売上高が前年を下回りましたが、ドラッグストアやネット通販は依然として好調であり、業種の垣根を越えた競争が激化しております。また一方では、消費者のライフスタイルの変化に伴って、米国では無人コンビニエンスストアの開発が進み、日本においても電子マネー決済額が過去最高を記録するなど、小売業においては急速に新たな技術導入と革新が進みつつあります。

こうした中、当期におきましては、３月より電子マネー機能付ポイントカード「ラッキーコジカカード」への切替えを実施して、お客様の利便性の向上やクーポン販促の強化に努めてまいりました。

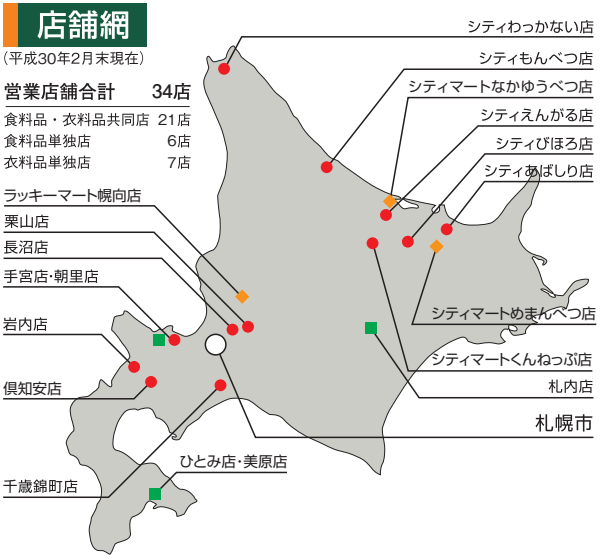
翌期においても、従来の営業方針に変更はありません。「商品力」、「現場力」、「マーケティング力」を高めていくことに最大傾注してまいります。また、予定している基幹システムの変更により、情報システム系も新たになり、よりお客様のお買物が楽しく快適となるような商品分析、販促活動が可能となります。スーパーマーケットを取り巻く環境は好転することはなく、競争はさらに激しくなっており、お客様の嗜好も多種多様となり「コト消費」、「メリハリ消費」への対応力も求められておりますが、お客様に対して私たちの「価値」をお伝えすることによって、より多くのご支持をいただけるよう、一人一人が最大限の力を発揮し対処してまいります。

これからも時代や社会の変化にいち早く対応し、お客様のニーズにも的確にお応えできる企業を目指し、役職者一同が最大限の努力をしてまいる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

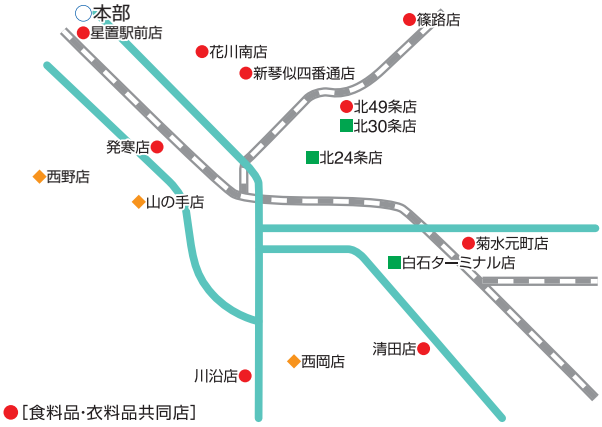
店舗網

（平成30年2月末現在）

営業店舗合計	34店
食料品・衣料品共同店	21店
食料品単独店	6店
衣料品単独店	7店



■札幌市近郊店舗分布



●［食料品・衣料品共同店］
◆［食料品単独店］
■［衣料品単独店］

○本　部	〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁1番1号	☎011-558-7000
■デリカセンター	北海道小樽市銭函3丁目193-1	☎0134-62-1717
■シティデリカセンター	北海道網走郡美幌町字青山北53-3	☎0152-75-2060
■生鮮センター	札幌市中央区北12条西19丁目36-168	☎011-623-0570
■低温センター	札幌市中央区北12条西19丁目36-168	☎011-643-4511
■物流センター	北海道石狩市新港西3丁目700	☎0133-75-8877

昭和46年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。昭和49年5月、商号を株式会社山の手ストアーと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、昭和57年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、平成17年10月には道北の稚内市、平成20年9月には後志地方の岩内町、平成23年11月には道南地区の函館市へと営業エリアを広げ、平成30年2月末現在、全道各地に34店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客様に感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一歩先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。

「ナチュラルラッキー&テイスティラッキー」ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康増進や病気予防に役立つよう、有機野菜、特別栽培野菜、無添加商品などを展開しております。また、もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族みんなが揃うお祝いの日やお誕生日などで、みんなに満足していただける商品です。

健康で安心な毎日の食生活のために。
ナチュラルラッキー

会津みそ
大豆もお米も
有機100%みそ

新篠津産
特別栽培
玉ねぎ

長沼産山中ポーク

おいしいものをどんどん食卓に。
テイスティラッキー

マルマ三ヶ日
みかん

オラッチェ カレールウ

ホテルブレッド

「こどもPOPコンテスト」開催

当社設立30周年記念企画として開催し、今回で6回目となる「こどもPOPコンテスト」を実施いたしました。今年の応募作品も食材に対する素直で純粋な気持ちがとても良く伝わってくる力作揃いでありました。食材の持つ美味しさが際立ってくるような、こども目線で描かれた作品は、見ているだけで楽しくなります。当社といたしましては、この企画を最終的な目的である「社会貢献」、「地域貢献」につながるよう、取組みの継続と積極的な広報活動に努めてまいります。

「新篠津産特別栽培玉ねぎ」

「炭火焼鳥」

全国大会で最優秀賞を受賞!

全国チェッカーフェスティバルの様子です。

平成29年7月13日(木)札幌パークホテルにて、道内スーパーマーケット7社のレジ担当者30名が接客技術を競う、第33回チェッカー競技会(北海道スーパーマーケット協会主催)が開催されました。

当社からは、5名が参加し、最優秀賞、優秀賞、優良賞に各1名がそれぞれ入賞いたしました。このうち最優秀賞受賞の長屋さんは、全国大会に北海道代表の一人として出場、全国大会においても最優秀賞を受賞いたしました。私たちは、この受賞を糧として、日々のお客様への接客向上に活かしてまいります。

競技会も無事終了して、みんな笑顔の集合写真です。

2018年　惣菜総選挙!

「あなたの1票でお惣菜が変わる」と題して、お客様からの支持(投票)をより多く得た候補者が当選することで、№1となった商品(公約)に値引きや増量などの特別サービスを提供する販売企画を実施いたしました。お客様には投票という形で、楽しく参加していただき、楽しいお買物をしていただけるよう今後もこのような販売企画を継続してまいります。

候補者の公約ポスターです。

当選の公約実現のポスターです。

ラッキーマート西野店の建替改装

当社では、平成29年6月19日札幌市西区内に「旧ラッキー西野2号店」を建替改装して「ラッキーマート西野店」を新装開店いたしました。「旧ラッキー西野2号店」は、昭和55年開店の当社では6番目に歴史の古い店舗でありました。今回のリニューアルでは「新鮮」「おいしさ」「健康」をキーワードにお客様の食生活向上に貢献できるよう、様々な取組みを行ってまいります。市場直送近海魚、近郊野菜等の高鮮度、高品質な商品と惣菜、パン等美味しさにこだわった商品の品揃えを充実いたします。また地域一番の「生活催事」「地域催事」を通じて地域のお客様に愛される店舗を目指してまいります。

開店直後のお客様の行列です。

お客様で込み合う店内の様子です。

シティマートなかゆうべつ店の新規開店

開店直後のお客様の行列です。

当社では、平成29年10月25日に道東の紋別郡湧別町に「シティマートなかゆうべつ店」を新規出店いたしました。湧別町は網走管内北西部のオホーツク海沿岸に位置し、オホーツク海と北海道で最大の湖・サロマ湖に囲まれたチューリップ公園で有名な町です。当店は湧別町中湧別地区の中心部に、当地で長年営業されていましたAコープ中湧別店様の跡を引き継ぎ出店いたしました。当店は、地域のお客様のニーズに対応した、より質の高い商品・サービスと日常生活に欠かせないコモディティ消費を提供し続けることで「暮らしを支えるライフライン」として、地域に末永く愛される店舗づくりを目指してまいります。

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止（二酸化炭素の削減）をはじめとする環境問題に積極的に取組み、従業員一人ひとりが身近で出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

お客様と共にリサイクル活動

当社では、平成29年10月21日（土）ラッキー発寒店の駐車場内において資源リサイクル活動の一環として、お客様のご家庭で不要になった古着や小型金属類、自転車などの回収活動を実施いたしました。たくさんのお客様にご参加いただき、トラックいっぱいの資源物が集まりました。現在、古紙やダンボールの回収を5店舗で実施しておりますが、こうしたお客様と共に行うエコ活動を今後も継続していきたいと考えております。

発寒店での資源回収の受付です。

資源回収はトラック2台分になりました。

従業員一人一人が身近に出来ることから

当社では、一昨年から資源ごみであった紙くずを雑紙（ミックスペーパー）に分別回収し、それを再生紙工場へ送り、トイレットペーパーへとリサイクルする活動に取組んでまいりました。現在、このトイレットペーパーは2店舗のお客様用トイレで実際に使用しており、僅かではありますがリサイクルの輪（ループ）が出来上がっております。

リサイクルされたトイレットペーパーです。

循環型リサイクルの内容が記載されたコアレックスシールです。

当期の概況

●営業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、雇用・所得環境や企業収益の改善が続くなかで緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外情勢においては、米国政権の保護主義的な政策運営やアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより金融・資本市場への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状態が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、依然として消費者の低価格・節約志向が続くなか、個人消費の本格的回復には至っておらず、小売業を取り巻く環境は業種の垣根を越えた競争が激しさを増し、少子高齢化による市場の縮小、労働力確保対策や人件費高騰による企業収益への影響など、楽観できない厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況のなか当社におきましては、消費停滞や競争激化といった状況に対処するため、「商品力」及び「現場力」の強化による競争力の確立を最大の課題として、「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」の構築に取組んでまいりました。

販売政策の面では、店舗運営における店長主導による迅速かつ適切な対応を目的とする「現場力」の強化に加えて、お客様のニーズを的確に汲取る「マーケティング力」の強化により、お客様が求める商品・サービス及び情報をより多く提供することで、お客様満足度の向上に努めてまいりました。また、顧客サービスにおいては、電子マネー機能付ポイントカード「コジカカード」への切替え・導入により、お客様の利便性向上や「コジカカード」利用者を対象とした販促活動及びクーポン販促の強化に努めてまいりました。

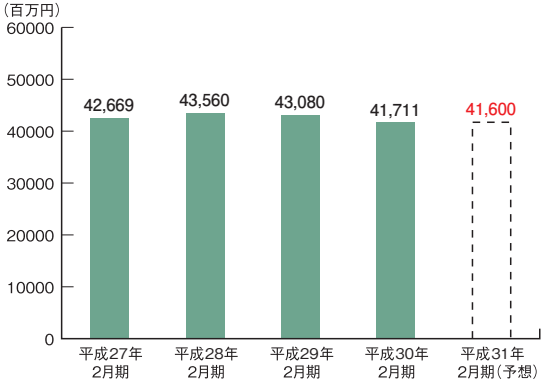
商品政策の面では、52週重点商品の拡販に加えて、健康と安心を提供するナチュラルラッキー商品及びおいしさを提供するテイスティラッキー商品、時代を背景に即食・簡便商品、集客に重要なパワープライス商品などを柱とするラッキー100カテゴリー（強化カテゴリー）の構築により、北海道№1商品力の確立に努めてまいりました。

経費面につきましては、原油相場の上昇等により水道光熱費が前年を上回りましたが、「コジカカード」の導入に伴うポイント販促方法の効率化により販売手数料が大幅に削減され、販売費及び一般管理費は前事業年度97.8%となりました。

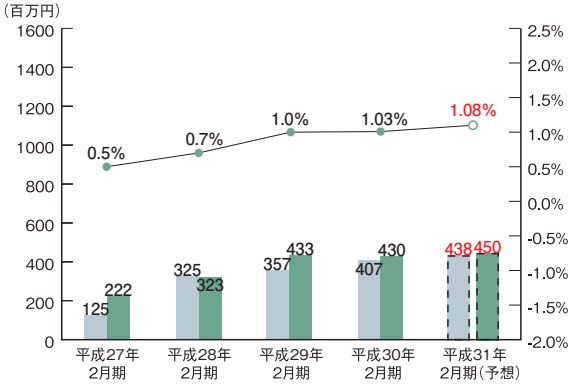
これらの結果、当事業年度の売上高は417億11百万円（前事業年度比3.2%減）、営業利益は4億7百万円（同14.0%増）、経常利益は4億30百万円（同0.8%減）、当期純利益は1億64百万円（同5.5%減）となりました。

平成30年2月28日現在の店舗数は、34店舗であります。

売上高の推移と予想（27年2月期～30年2月期実績と31年2月期予想）



営業利益の推移と予想（27年2月期～30年2月期実績と31年2月期予想）
経常利益の推移と予想（27年2月期～30年2月期実績と31年2月期予想）
売上高対経常利益率



●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、地政学的リスクや米国の通商政策の行方など海外経済の不透明要因もありますが、国内経済は個人消費の伸び悩みはあるものの、輸出増を背景に企業設備投資は拡大傾向にあり、雇用・所得環境が着実に改善していることから、景気は回復基調を維持するものと予想されます。

スーパーマーケット業界におきましては、ドラッグストアやネット通販など業種の垣根を越えた競争が激しさを増すなか、低価格志向を含めたお客様の多種多様な購買嗜好への対応及び少子高齢化による市場縮小への対応力が求められており、更には、労働需給の逼迫及び最低賃金改定による人件費上昇への対処が喫緊の課題となっており、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われます。

当社は、消費停滞や競争激化といった状況に対処するため、「商品力」、「現場力」、「マーケティング力」の強化に最大限傾注することを営業方針として取組んでまいります。そして、当社はお客様が求める、価格的にも品質的にも多様化するニーズに対応することで、これまで以上にお客様の支持と信頼を拡大してまいります。

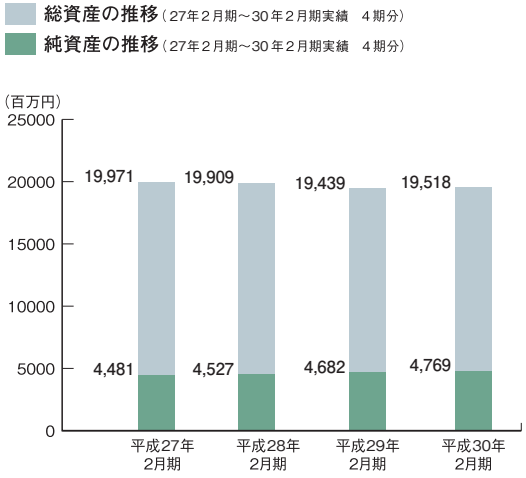
翌事業年度の設備投資におきましては、平成30年4月に「ラッキー岩内店」、同年7月に「ラッキー西岡店」の改装を予定しております。

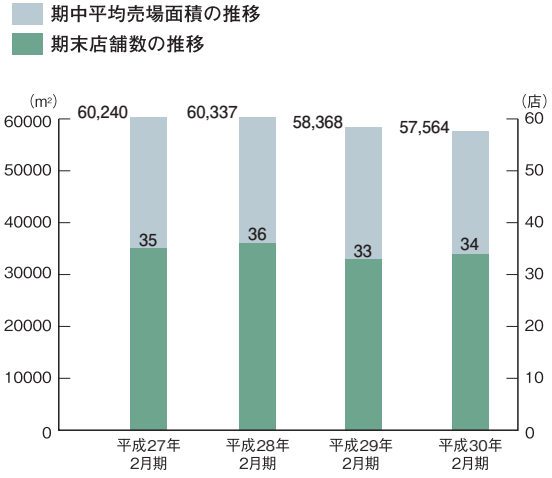
その他の設備投資につきましては、引続き堅実な範囲にて実施してまいります。

当社はこうした数ある課題を着実に実施していくことにより、厳しい経営環境にあるなか、競争力のある企業、お客様から愛される企業の構築に向けて取組んでまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、引続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績予想につきましては、投資計画として、平成30年4月に「ラッキー岩内店」、同年7月に「ラッキー西岡店」の改装を予定しておりますが、消費回復の不透明な状況及び競合激化の環境も考慮し、売上高416億円（前事業年度比0.3%減）、営業利益4億38百万円（同7.6%増）、経常利益4億50百万円（同4.6%増）、当期純利益2億45百万円（同49.0%増）を見込んでおります。





財務諸表

●貸借対照表

単位:千円

科目	前期 平成29年2月28日現在	当期 平成30年2月28日現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,666,144	5,004,445
現金及び預金	1,630,643	1,680,209
売掛金	482,137	737,293
商品及び製品	1,756,474	1,784,951
原材料及び貯蔵品	89,375	93,777
前払費用	109,085	108,839
繰延税金資産	67,792	73,911
未収入金	484,165	446,858
その他	47,204	79,336
貸倒引当金	△734	△734
固定資産	14,761,306	14,502,064
有形固定資産	11,931,700	11,821,606
建物	3,835,421	3,921,564
構築物	156,191	156,758
機械及び装置	249	199
車輌運搬具	145	72
工具、器具及び備品	92,242	80,627
土地	7,219,516	7,222,016
リース資産	627,771	440,367
建設仮勘定	162	—
無形固定資産	47,310	77,018
ソフトウェア	29,081	42,562
ソフトウェア仮勘定	—	18,228
電話加入権	18,228	16,227
投資その他の資産	2,782,295	2,603,438
投資有価証券	253,379	238,945
繰延税金資産	334,072	373,940
差入保証金	2,025,337	1,848,741
その他	169,505	141,810
繰延資産	12,362	11,512
社債発行費	12,362	11,512
資産合計	19,439,813	19,518,021

単位:千円

科目	前期 平成29年2月28日現在	当期 平成30年2月28日現在
〈負債の部〉		
流動負債	10,334,650	10,323,858
買掛金	2,605,631	2,604,196
1年内償還予定の社債	410,000	100,000
短期借入金	4,537,023	4,550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,306,948	1,316,434
リース債務	278,666	262,995
未払金	419,885	341,391
未払費用	272,657	278,036
未払法人税等	95,727	142,565
未払消費税等	110,659	68,137
前受金	20,312	21,233
預り金	131,203	497,554
賞与引当金	110,519	110,088
ポイント引当金	35,416	31,224
固定負債	4,422,665	4,425,006
社債	550,000	750,000
長期借入金	2,086,585	1,976,161
リース債務	429,409	331,206
退職給付引当金	893,059	893,663
役員退職慰労引当金	100,075	101,021
長期預り保証金	309,453	310,220
資産除去債務	48,024	60,711
その他	6,057	2,022
負債合計	14,757,315	14,748,864
〈純資産の部〉		
株主資本	4,612,434	4,713,650
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	351,215	351,215
利益剰余金	3,621,006	3,722,248
自己株式	△1,595	△1,621
評価・換算差額等	70,063	55,506
その他有価証券評価差額金	70,063	55,506
純資産合計	4,682,497	4,769,157
負債純資産合計	19,439,813	19,518,021

●損益計算書

単位:千円

科目	前期 平成28年3月 1日～ 平成29年2月28日	当期 平成29年3月 1日～ 平成30年2月28日
売上高	43,080,676	41,711,830
売上原価	32,243,942	31,136,244
売上総利益	10,836,734	10,604,063
営業収入	1,171,669	1,195,770
営業総利益	12,008,403	11,799,834
販売費及び一般管理費	11,651,317	11,392,653
営業利益	357,086	407,180
営業外収益	164,954	86,336
営業外費用	88,199	63,148
経常利益	433,841	430,368
特別利益	294	―
特別損失	120,251	174,608
税引前当期純利益	313,884	255,759
法人税、住民税及び事業税	82,177	137,423
法人税等調整額	57,684	△46,108
当期純利益	174,023	164,444

●剰余金処分

期末配当に関する事項

(1)配当財産の種類　金銭といたします。

(2)配当財産の割当に関する事項及びその総額

普通株式　1株につき金10円　　配当総額　63,202,260円

(3)剰余金の配当が効力を生じる日　平成30年5月29日

(参考)

1. 当期における配当性向　38.4%

2. 1株当たり配当金の推移(期末時)

25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
10.0円	10.0円	10.0円	10.0円	10.0円

●キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	当期 平成29年3月1日～平成30年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	913,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△547,735
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	49,566
現金及び現金同等物の期首残高	400,643
現金及び現金同等物の期末残高	450,209

●株主資本等変動計算書

当期(自　平成29年3月1日　至　平成30年2月28日)

単位:千円

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
					別途積立金	繰越利益剰余金						
平成29年3月1日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,156,006	3,621,006	△1,595	4,612,434	70,063	70,063	4,682,497
当期変動額												
剰余金の配当						△63,202	△63,202		△63,202			△63,202
当期純利益						164,444	164,444		164,444			164,444
自己株式の取得								△25	△25			△25
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										△14,556	△14,556	△14,556
当期変動額合計	―	―	―	―	―	101,242	101,242	△25	101,216	△14,556	△14,556	86,659
平成30年2月28日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,257,248	3,722,248	△1,621	△4,713,650	55,506	55,506	4,769,157

売上・設備の状況

●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

○売上高の概要

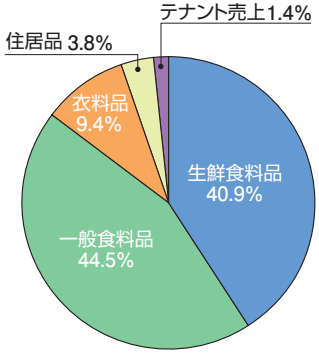
当事業年度の売上高は、前事業年度と比較し3.2%減の417億11百万円となりました。これは、新装開店の「ラッキーマート西野店」や「シティマートなかゆうべつ店」は順調に業績推移したものの、閉店した3店舗の売上高減少及び主力魚種の不漁や野菜相場の極端な変動による生鮮部門の不調もあり、売上高は前事業年度を下回りました。また、既存店売上高も前年同期比97.4%でありました。

商品別売上高

単位：百万円

	28年2月期	29年2月期		30年2月期		31年2月期(予想)	
			前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
スーパーマーケット事業部門	43,560	43,080	98.9	41,711	96.8	41,600	99.7
生鮮食料品	17,619	17,681	100.3	17,052	96.4	17,050	100.0
一般食料品	19,400	19,069	98.3	18,575	97.4	18,474	99.5
衣料品	4,259	4,104	96.4	3,905	95.2	3,890	99.6
住居品	1,668	1,639	98.3	1,584	96.6	1,557	98.3
テナント売上	613	585	95.5	593	101.4	629	106.0
合　計	43,560	43,080	98.9	41,711	96.8	41,600	99.7

30年2月期 売上構成比



●設備投資の概要

設備投資につきましては、平成29年6月19日に旧「ラッキー西野2号店」を「ラッキーマート西野店」として新装開店し、同年10月25日に紋別郡湧別町に「シティマートなかゆうべつ店」（食料品店）を新規開店しております。改装店舗としては、平成29年4月に「ラッキー清田店」、同年5月に「シティびほろ店」、同年10月に「シティわっかない店」、同年11月に「シティえんがる店」の改装を実施しております。

なお、経営資源の最適化を図るため、平成30年2月25日付で「ラッキー衣料館桔梗店」を閉店しております。

平成30年2月28日現在の店舗数は34店舗であります。

設備投資の推移

単位：百万円

	28年2月期	29年2月期		30年2月期		31年2月期(予想)	
			前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
投資金額合計	793	531	66.9	665	125.3	316	47.6
新店投資	494	25	5.2	362	1,407.2	—	—
既存店改装投資	65	70	107.7	91	130.3	146	160.3
その他	234	435	185.7	211	48.6	170	80.5
減価償却費	349	342	98.0	335	98.0	331	99.0
リース償却費	288	291	101.1	267	91.9	224	83.9

注　本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

●店舗の状況

(1) 開店・閉店店舗数と期末平均売場面積

	25年2月期	26年2月期	27年2月期	28年2月期	29年2月期	30年2月期
開店						
店舗数	1	0	2	2	1	2
平均売場面積(㎡)	716	0	2,942	1,865	457	1,117
閉店						
店舗数	1	0	1	1	4	1
平均売場面積(㎡)	1,190	0	1,758	715	3,826	493
全店						
店舗数	34	34	35	36	33	34
期末売場面積(㎡)	59,224	58,340	59,521	60,617	57,133	57,511
期中平均売場面積(㎡)	59,529	58,474	60,240	60,337	58,368	57,564

(2) タイプ別店舗数と期末売場面積

	25年2月期	26年2月期	27年2月期	28年2月期	29年2月期	30年2月期
衣料品単独店						
店舗数	9	9	10	9	8	7
期末売場面積(㎡)	6,534	6,534	7,028	6,313	5,404	4,911
食料品単独店						
店舗数	4	4	4	5	4	6
期末売場面積(㎡)	4,077	4,077	4,189	5,115	4,507	5,624
食料品・衣料品共同店						
店舗数	21	21	21	22	21	21
期末売場面積(㎡)	48,613	47,728	48,304	49,189	47,222	46,976

会社概要

設立	1982(昭和57)年5月10日
本社	〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号
資本金	6億4180万円
代表者	代表取締役社長　桐生　宇優
従業員数	正社員　483名 パートタイマー　1,398名 (1人8時間換算　月平均) 平成30年2月末日現在
営業品目	生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・ 日用雑貨・米・酒

役員	代表取締役会長	川端　敏
	代表取締役社長	桐生　宇優
	取締役　専務執行役員	山本　光治　(営業本部長)
	取締役　常務執行役員	山川　浩文　(管理本部長)
	取締役　執行役員	堀田　史朗　(業務推進室長)
	取締役　執行役員	鴇澤　賢治　(経理部長)
	取締役　執行役員	大橋　洋　(開発担当)
	取締役	吉田　周史　(社外取締役)
	常勤監査役	黒田　寿隆
	監査役	堀　勝彦
	監査役	宮脇　憲二　(社外監査役)
	監査役	伊藤　光男　(社外監査役)
	執行役員	猿渡　浩一　(総務部長)
	執行役員	中瀬　美夫　(生鮮部長)
	執行役員	斎藤　礼二　(遠軽店長)

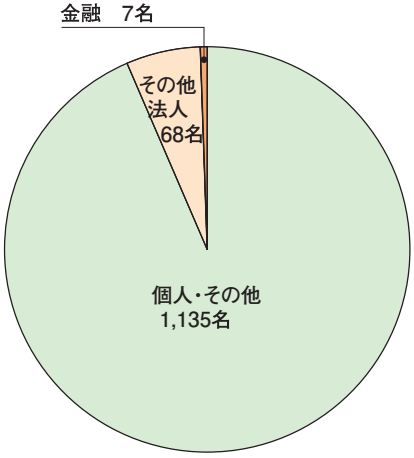
沿革

昭和46年04月	食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現　西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。
48年04月	本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。
49年05月	商号を株式会社山の手ストアーに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。 同月、山の手店をはじめ、5店舗の営業を開始。
50年10月	札幌市東区に北49条店を開店。
51年10月	札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。
52年12月	札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。
57年05月	株式会社まるせんとの合併と同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。
59年06月	本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。
63年07月	小樽市新光町にラッキー朝里店を開店。小樽へ進出。
平成元年07月	本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。 同月、札幌市南区に川沿店を開店。
2年03月	POS(販売時点情報管理)システムを導入。
3年10月	石狩町(現 石狩市)花川にラッキー花川南店を開店。
5年09月	株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。道東地区へ進出。
6年03月	千歳市錦町にラッキー千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。
6年04月	紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。
7年05月	札幌市豊平区(現 清田区)にラッキー美しが丘店を開店。
8年03月	本格的にインストアベーカリーを手がけ、以後各店へ導入。
10年03月	夕張郡栗山町にラッキー栗山店を開店。
12年03月	網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。
13年03月	札幌市北区にラッキー新琴似四番通店を開店。
14年03月	中川郡幕別町に衣料館札内店を開店。 同月、安全衛生管理室を設置。
14年04月	札幌市手稲区にラッキー星置駅前店を開店。
14年10月	日本証券業協会に株式を店頭登録。(現在は東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場)
15年04月	夕張郡長沼町にラッキー長沼店を開店。
16年05月	精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼動。
16年06月	紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。 道東地区4店舗となる。
17年10月	稚内市新光町にシティ稚内店を開店。道北地区へ進出。
18年03月	札幌市中央区に低温物流センターを取得。
19年07月	小樽市手宮に衣料館手宮店を開店。
20年09月	岩内郡岩内町にラッキー岩内店を開店。
23年11月	函館市人見町に衣料館ひとみ店を開店。
24年09月	函館市美原に衣料館美原店を開店。
25年06月	本社を札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号に移転。 (ラッキー星置駅前店に併設)
26年03月	虻田郡倶知安町にラッキー倶知安店を開店。
26年10月	函館市桔梗に衣料館桔梗店を開店。
27年07月	常呂郡訓子府町にシティマートくんねっぷ店を開店。
27年07月	岩見沢市幌向にラッキーマート幌向店を開店。
28年04月	網走郡大空町にシティマートめまんべつ店を開店。
29年10月	紋別郡湧別町にシティマートなかゆうべつ店を開店。

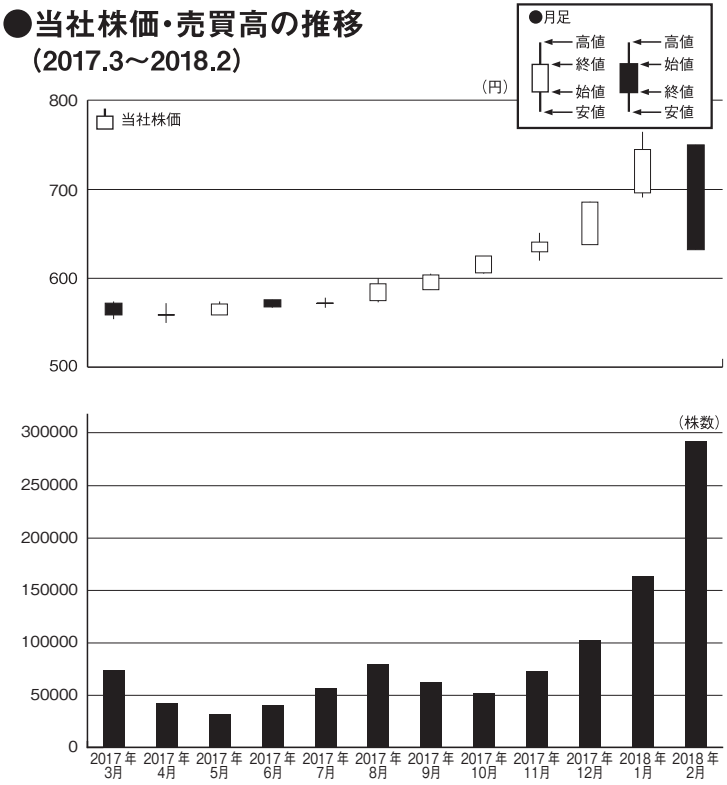
株式の状況（平成30年2月28日現在）東証JASDAQ(スタンダード):2747

発行済株式の総数	6,323,201株
期末株主総数	1,210名（前期比113名増）

●所有者別株主数



●当社株価・売買高の推移
（2017.3～2018.2）



●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（%）
桐生泰夫	662,400	10.47
横山　清	350,000	5.53
株式会社 北洋銀行	310,000	4.90
田中寛密	300,000	4.74
堀　勝彦	240,000	3.79
桐生宇優	193,500	3.06
有限会社 まるせん商事	173,000	2.73
株式会社 北海道銀行	150,000	2.37
桐生美智子	143,000	2.26
千葉サカヱ	138,000	2.18

（注）出資比率は自己株式（2,975株）を控除して計算しております。

株主メモ

決算期日	2月末日
株主総会	毎年5月
基準日	2月末日 そのほか臨時に必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	剰余金の配当2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、年1回JCBギフトカード(5,000円分)もしくは「北海道特産品」を贈呈いたします。

LUCKY

2018.2
第48期 報告書

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店（※） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご　注　意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみに全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。